住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

2026年11月4日

報道関係者各位

建築の国際アワード「Architecture MasterPrize 2026」株式会社中央住宅の「リーズン市川・森都」など6作品が受賞

ポラスグループ
株式会社中央住宅
中央グリーン開発株式会社
ポラスガーデンヒルズ株式会社

ポラスグループの株式会社中央住宅（本社：埼玉県越谷市、代表取締役：品川 典久）が開発した**「リーズン市川・森都」**をはじめとする6作品が、アメリカの国際建築賞**「Architecture MasterPrize（AMP）2026」**を受賞いたしました。ポラスグループとしては6年連続の受賞となります。

同アワードは、2016年にFarmani Groupによって設立され、建築およびその関連分野に特化した世界的な賞であり、国内外の大手設計事務所や建築家が多様なカテゴリーで受賞しています。なお、Farmani Groupは、デザイン全般を対象とした総合アワード「INTERNATIONAL DESIGN AWARDS（IDA）」なども主催しており、世界中の優れた才能を発掘・評価する場を広く提供しています。
ホームページ ： https://architectureprize.com/

物件の概要

【Winner】
リーズン市川・森都　株式会社中央住宅

部門　　：　Residential Architecture – Multi Unit
デザイナー　：　山崎 正吾・小瀧 愛美

ARCHITECTURE MASTERPRIZE
WINNER 2026

人と自然が共存する持続可能な街づくりを目指す13家族のための分譲住宅です。本計画では「ネイチャーポジティブ」を掲げ、「配景(LendScape)」「生物多様性」「耐災」という3つの循環を軸として、生産緑地の記憶を継承しながら、行政・NPO・住民がともに取り組む共創モデルを構築いたしました。無垢材を取り入れた可変性のある住空間とともに、住むほどに愛着と価値が深まる「森のように経年美化する街」として、新しい時代の都市型分譲モデルを提案しました。

受賞作品ページ：https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=9787





【Honorable Mention】

リーズン津田沼 雅麗　株式会社中央住宅

部門　：　Residential Architecture – Single Family

デザイナー　：山崎 正吾・小瀧 愛美



京成本線「谷津」駅徒歩4分の閑静な住宅街に建つ「日常に隠れ家宿のような寛ぎ」をコンセプトとした2つの邸宅です。最大の特徴は、互いの庭を「借景」として取り込み、視線を計算してプライバシーと緑の開放感を両立させた点です。庭園風のアプローチが玄関先から“旅心地”を演出します。また、各邸は異なるテーマで設計されています。1号棟のテーマ「光陰風雅」は吹き抜けの自然光や間接照明、ウォルナット床により上質な光と影の陰影美を創出。2号棟のテーマ「美木秀麗」は国産杉や桧、オーク材を用い、大窓から望む坪庭やモミジとともに五感で木の温もりを堪能できます。

受賞作品ページ：https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=13089&mode=hm&compID=12818

ミラネクス西大宮　株式会社中央住宅

部門　：　Interior Design – Houses Interior

デザイナー　：山下 隆史・加藤 里実



ありのままの木素材の魅力と、開放的なオープンフロア設計を際立たせたインテリアの提案です。繊細な白の手摺子を組み合わせたスケルトン階段は、空間の視線の抜けを保ちつつ、象徴的な建築美を添えるアクセントとして機能しています。現しの木柱や板張りの天井パネルは、壁で仕切ることなくリビングとダイニングを緩やかにゾーニングし、フレキシブルに連続する開放的な空間コンセプトを体現しています。注ぎ込む豊かな自然光が清潔感のある白い内装に反射し、明るく軽やかで一体感に満ちた住空間を作り出しています。

受賞作品ページ：https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=13651&mode=hm&compID=12818

ザ・プルーヴ新松戸　株式会社中央住宅

部門　：　Interior Design – Houses Interior

デザイナー　：山下 隆史・菅原 雄太・加藤 里実



豊かな自然素材の質感と床の高低差を大胆に活かすことで、洞窟を思わせる有機的な空間を演出するインテリアの提案です。手前には温もりあるダークウォールナットのフローリングが広がり、段差を経て光あふれるリビングスペースへと滑らかにつながります。この小上がり構造により、間仕切り壁を設けることなく、地形のような奥行き感が生まれました。天井の折り上げ部分には床の色調と呼応する板張りと露出した梁が施され、ダークスレート調のアクセントウォールが、ありのままの大地の力強さと
落ち着きをリビングにもたらしています。

受賞作品ページ：https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=13658&mode=hm&compID=12818

ブリスト大宮公園　共庭の景　中央グリーン開発株式会社

部門　：　Small Architecture
デザイナー　：剣持 翔太



整形地と旗竿地※を含む少棟分譲の配棟計画において、風致地区の壁面後退範囲と路地上部分を組み合わせた、2棟一体のコミュニティ創出型の分譲地です。地役権設定したアプローチ空間の「通り庭」に加えて、プライベートを重視した庭、コミュニティを育む広場のような庭を創出しました。庭や住戸からは隣接する公園の景色を借景として取り込めるように計画しています。
※敷地の一部分が通路になっている土地

受賞作品ページ：https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=13129&mode=hm&compID=12818

ミライネス柏の葉キャンパス　ポラスガーデンヒルズ株式会社

部門　：　Residential Architecture - Multi Unit / Houses Interior / Small Scale Landscape Projects
デザイナー　：松井 孝治、水野 貴裕、阿彦 栞季、倉上 薫人、小城 聡子



本分譲地は南北に道路が通る敷地条件で、通常の配棟では南側と北側に分断されて街としての一体感に乏しいものとなり、北側の区画の陽当たり不足も懸念されました。そこで、街区の中心に中庭を配置し、その周囲を取り囲むように5棟の住宅を配棟。各戸の陽当たりを確保しつつ、通常分断される庭が中心に集まることで、開放感・奥行き感も生まれます。「はなれ」や植栽の位置を程よく調整し、中庭からの目線にも配慮し、プライバシーにも対応したデザインとなっています。

受賞作品ページ：
https://architectureprize.com/winners/winner.php?id=13431&mode=hm&compID=12818

本件に関するお問い合わせ先
ポラスグループ　ポラス株式会社　コミュニケーション部広報課
TEL：048-989-9151
ニュースリリース：https://www.polus.co.jp/news/